



ポカポカ通信

初夏号

令和4年5月

発行者：富山県立乳児院病児保育室「おひさま」
富山市牛島本町2丁目1-38 電話 080-8697-2773

そろそろ梅雨の時期が近づいてきましたね。

この時期は、暖かい日が続いても急に寒くなったりすることもあり、体調を崩しやすくなります。衣服の調節をするなどし、気温差から風邪などを引かないよう気をつけてお過ごし下さい。今回はお子さんの発熱について取り上げてみました。



病児保育室

おひさま



おひさまは、働く親御さんとお子様
の小さなサポートに尽力し大きな
安心に繋がたいと思っております。



お ちついた環境で

ひ とり一人の症状に合わせ

さ い善を尽くす

ま 心込めた病児保育

病院での適確な治療や病児病後児保育の安心安全な保育をする為には、お子様の様子や病状を詳しく知ること（問診）が大切です。

特に病児保育は、お子様にとって慣れない環境の中での療養となりますので、日頃の生活の様子や個性、好む遊び、呼び名などお聞かせいただくとスムーズな保育へと導入されていきます。日頃、お子様をあまり見ることのできないお父様や祖父母様にお子様を預けて、かかりつけ医の受診や病児病後児保育を利用される場合、お子様の病状をメモして渡して下さいるとより良い診察や受け入れに繋がると思います。



子どもの発熱について



いつもと変わらず元気に遊んでいたのに突然の発熱でまわりの大人を慌てさせることがありますよね。小さい子どもは容態をうまく伝えることができません。こんなときどうすれば良いか、病児保育でよく尋ねられることをまとめてみました。

まずはチェック！

熱が出た 38℃以上 → 3か月未満 → 救急診療(3か月未満の高熱は注意が必要です。)

3ヶ月以上～6歳頃

- 水分を嫌がって摂れない
- おしっこがでない
- 活気がない
- 眠れない
- 元気がなくグッタリ

左記のうち1つ以上
チェックがあれば早め
に病院受診をして下さ
い。
熱があるけれど左記の
症状には当てはまらない
場合は、お子さんの様
子をみながら診療時間
を待ってかかりつけ医
へ受診しましょう。



解熱剤ってどんなときに使えばいいのかな？

熱が高いと周囲の大人は早く熱を下げたいと心配になりますが無理に熱を下げなくても大丈夫。熱が出るのは・・・自分の内なるパワーで治そうとしている時!(^^)!
解熱剤は熱や痛みを緩和するものであり、治すものではありません。

熱が出た時は**水分補給**することが最も大切です。

解熱剤を使用するタイミングは熱の高さではなく、熱でうなされて眠れない、ぐったりして水分を欲しがらない時です。解熱剤は水分や睡眠をとる為のからだへの休憩 Time を目的に使用すると良いそうですよ。

熱が出た時の対処法

熱を下げることに神経質にならず子どもが気持ちよく過ごせることに配慮しましょう。
水分補給は OS-1 や子ども用イオン飲料がよいですが、ジュースやお茶でも大丈夫です。水分補給が重要なので子どもがその時欲しがっているものが一番です。こまめに与えましょう。熱の上り際は顔色が悪く悪寒で震えることがあります。その時は服や布団を着せ温めてあげましょう。熱が上がりきって顔がほてり始めたら汗をかきすぎないように服や布団を少なめに…。汗をかいたら早めに着替えさせましょう。